

## オヤブジラミ (雄藪虱)

**名前**の意味：頑丈なヤブジラミの意味。オは雄々しい感じのするものにつける。ヤブジラミの意味は果実がシラミに似たやぶに生える植物の意味。

**分類**：双子葉類、セリ科、ヤブジラミ属

(セリ科の栽培植物：セリ、ミツバ、ニンジン、セロリ)

**好きな場所**：少し暗い湿った林の縁、空き地

**分布**：北本州、四国、九州

**原産地**：昔から日本に生えていた (自生)

**特徴**：細かく切れ込んだ葉。ちぎると匂うセリのようなにおい。白くて小さな花、刺だらけの実

**種子の運ばれかた**：動物の毛皮について運ばれる

**花弁の数**：合弁、5裂

**花の時期**：5—6月

**食べ方**：たべない

**見分け方**：ムラサキケマンの葉は、白っぽい緑色、花は赤紫色。

ヤブジラミは、葉の切れ込みが少ない。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)